ACA-JAPAN CORPORATE TRAINING

# 組織の軸を、
# 人の軸から。

— 企業研修・組織開発のご案内 —

離職・すれ違い・受け身——組織の悩みの根は、いつも「人と人の対話」にあります。
ACA-JAPANは、傾向診断×SQ5コーチング®×習慣化の3つのメソッドで、社員一人ひとりの「ぶれない軸」と対話の力を育てます。

一般社団法人 日本アクシスコミュニケーション協会

| 設立 | 研修・講演 実施 | 傾向診断 実施 |
|---|---|---|
| 2017年 | 56本 | 1,300件+ |
| 一般社団法人として設立から9年 | 企業・法人・団体向け累計 | 脳感傾向・価値観診断 累計 |

ISSUES

## その課題、「スキル研修」だけでは解決しません。

ISSUE 01

### 若手が定着しない。本音が見えない。

待遇でも配属でもなく、「わかってもらえていない」が離職の引き金に。上司と部下の対話の質が、定着率を左右します。

ISSUE 02

### 管理職が「指示」はできても「対話」ができない。

プレイヤーとして優秀だった人ほど、部下の話を聴く前に答えを言ってしまう。1on1が形骸化する典型的な構造です。

ISSUE 03

### 研修をやっても、現場が変わらない。

学んだ直後は変わるのに、3週間で元通り。原因はスキル不足ではなく、行動が「習慣」まで落ちていないことです。

3つに共通する根っこは、**自分と相手を知らないまま対話していること。**

だから私たちは、「知る」から始めます。

ACA METHOD

# 知る → 言葉にする → 習慣にする。
# 3ステップで、対話の軸を育てる。

単発の座学では終わらせません。診断で自分と相手の傾向を可視化し、コーチングの型で本音を言語化し、行動を習慣まで定着させる——この一連の流れがACAメソッドです。

STEP 01

## 傾向診断

自分と相手を「知る」

脳感傾向・価値観の診断で、思考と行動の傾向を可視化。「あの人はなぜ伝わらないのか」が構造で分かります。オンライン受検・結果レポート付き。

→

STEP 02

## SQ5コーチング®

本音を「言葉にする」

書く・選ぶ・話すの3ステップで、部下の本音と価値観を引き出す対話の型。センスに頼らない「型」だから、どの管理職でも翌日の1on1から実践できます。

→

STEP 03

## 目標習慣

行動を「習慣にする」

研修で終わらせず、小さな行動を仕組みで継続。3週間・3ヶ月の習慣設計で、現場の変化を定着させます。

**効果は、診断で可視化。**

受講前後の傾向診断の比較と、研修結果レポートのご提出により、「何がどう変わったか」を数値と言葉でお返しします。やりっぱなしにしない研修です。

## ご依頼から実施までの流れ

STEP 1
**無償ヒアリング**
課題を伺い、研修が有効かを率直にお答えします（約30分）

STEP 2
**ご提案・お見積り**
階層×テーマで最適な設計をご提案

STEP 3
**事前診断**
受講者がオンラインで傾向診断を受検

STEP 4
**研修実施**
対面・オンライン・ハイブリッド対応

STEP 5
**レポート・定着**
結果レポート提出・習慣化フォロー

PROGRAMS

# 研修プログラム（階層 × テーマ）

| 対象＼テーマ | 対話・1on1 | チームづくり | 自律・キャリア |
|---|---|---|---|
| 経営層・役員 | **エグゼクティブ対話研修**<br>経営の意思を「伝わる言葉」にする。役員間の相互理解と発信力。 | **経営チーム診断**<br>役員の傾向マップで意思決定の傾向と死角を可視化。 | **理念浸透ワーク**<br>理念を現場の行動言語に翻訳する。 |
| 管理職・リーダー | **SQ5型 1on1研修**<br>書く・選ぶ・話すの型で、形骸化した1on1を本音の対話に変える。最も依頼の多い研修です。 | **傾向診断マネジメント**<br>部下の脳感傾向に合わせた指示・任せ方を習得。 | **リーダーの軸づくり**<br>プレイヤーからリーダーへ。自分の判断軸を言語化する。 |
| 中堅・若手 | **伝わる報連相研修**<br>上司の傾向を知り、伝わる伝え方を設計する。 | **相互理解ワークショップ**<br>診断結果をチームで開き合い、すれ違いの正体を共有。 | **キャリアの軸研修**<br>「何がしたいか分からない」を、価値観の言語化から解く。 |

### 講演・セミナー

90分〜半日

**30万円〜**

- 全社向け・階層別どちらも可
- 診断体験つきの構成も可能
- オンライン・対面対応

人気

### 研修（単発〜短期）

半日〜2日

**50万円〜**

- 傾向診断＋ワークショップ
- SQ5型 1on1研修が人気
- 研修結果レポート付き

### 伴走プログラム

3〜6ヶ月

**個別見積り**

- 研修＋習慣化フォロー
- 診断比較による効果測定
- 経営層セッション併用可

人数・回数・カスタマイズ内容により変動します。まずは無償ヒアリングで課題をお聞かせください。

CASE STUDIES

# 導入事例

社会福祉法人（2法人）

### 福祉の現場に、「傾向のちがい」という共通言語を

傾向診断＋職員研修

職員一人ひとりの脳感傾向を診断し、チームで開き合う研修を実施。対人援助の現場だからこそ、まず職員同士の相互理解から始めました。

学習塾

### 生徒への伝え方を、講師の「感覚」から「設計」へ

傾向診断＋講師研修

講師陣の傾向診断をもとに、生徒のタイプに合わせた教え方・声のかけ方を研修。教育現場と傾向診断の相性の良さを実感いただいた事例です。

EC事業会社

### 画面越しのチームにこそ、対話の「型」を

傾向診断＋社員研修

リモート主体で働くメンバーの相互理解とコミュニケーション設計を支援。診断から研修までオンライン完結で実施しました。

※ 守秘義務のため、事例は業種・実施内容のみ記載しています。

| | |
|---|---|
| **名称** | 一般社団法人 日本アクシスコミュニケーション協会（ACA-JAPAN） |
| **設立** | 2017年6月 |
| **代表理事** | 佐桑 史基 |
| **事業内容** | 企業研修・講演・組織開発／傾向診断（脳感傾向・価値観）／SQ5コーチング®／認定コーチの養成 |
| **商標** | 「SQ5コーチング」は当協会の登録商標です。 |



**佐桑 史基**
代表理事

「問題社員はいない、すれ違っている社員がいるだけ」。知る→言葉にする→習慣にする、の3ステップで、人と組織の対話に向き合っています。

## 最初の30分は、「聞くだけ」で構いません。

無償ヒアリングでは、貴社の課題を伺った上で、研修が有効か・どんな設計が合うかを率直にお答えします。

**aca-japan.com**

お問い合わせはWebサイトのフォームから（「研修のご相談」とお書きください）